様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	よしみず病院附属看護学院
設置者名	医療法人 茜会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門	看護学科	夜・通信	84	9	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

一覧表を作成し、本校教務室にて保管、申請により開示を行う。またシラバスに実務経験の有無を記載し、年度初めにGoogle Classroomを通じて学生へ開示している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	よしみず病院附属看護学院
設置者名	医療法人茜会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	以下の目的達成における役割を担う。 (1) 学校関係者が本校の自己点検・自己評価結果を評価することで、自己評価結果・客観性・透明性を高める。 (2) 学校関係者から学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
医療法人事務局長	2年	医療関係者
社会福祉法人事務局長	2年	福祉関係者
卒業生同窓会会長	2年	卒業生（看護職）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	よしみず病院附属看護学院
設置者名	医療法人茜会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書は、前年度中に各担当講師が作成している。授業計画書の内容は、各科目の単位、および時間数、授業目標、各回の授業内容、学習形態、評価方法、評価基準、使用するテキストなどである。授業計画書は、当該年度初めにグーグルクラスルームを通じて学生へ配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>年度ごとに授業計画書のファイリングを行い、本校教務室にて保管している。また申出があれば開示を行うようにしている。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目評価は、担当講師の定めた評価基準に基づいて実施している。評価対象は、終了試験、課題レポート、小テスト、学習活動への参加状況などである。なお科目評価においては、授業時間の2/3以上の出席が認められることが前提条件となっている。また臨地実習では、実習指導者と担当教員の合意の上で評価を行っている。</p> <p>各科目評価は100点満点で行い、秀(90点以上)、優(80～89点)、良(70～79点)、可(60～69点)及び不可(60点未満)とし、可以上にて単位修得としている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、全履修科目の合計点数の平均点を算出し、成績の分布状況の客観的評価GPAを設定し行っている。なお平均点は所為数点第3位を四捨五入し、算出する。</p> <p>また入学時既に他大学等での履修科目であり、本校で単位修得を認定された科目については、上記の評価から除外している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>GPAによる「成績評価および分布状況」は、本校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針は、学則（内規）にて以下のように定めている。</p> <p>卒業の認定は、次の各号に全て該当し、学校運営会議の決議を経て、学校長の承認を受けた者とする。</p> <p>(1) 出席日数が本校の定めた各学年の出席すべき日数の3分の2以上を出席した者。</p> <p>(2) 本校の定める全ての授業科目の単位を認定された者。</p> <p>(3) 在学年限内の者。</p> <p>以上の要件を満たし、学校運営会議の議を経て、卒業の認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>卒業の認定に関する方針について、学生便覧に記載している。学生便覧は年度初めに、グーグルクラスルームを通して学生へ配布している。また本校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	よしみず病院附属看護学院
設置者名	医療法人茜会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校教務室内に紙媒体で保管し申出により公表を行う。
収支計算書又は損益計算書	学校教務室内に紙媒体で保管し申出により公表を行う。
財産目録	学校教務室内に紙媒体で保管し申出により公表を行う。
事業報告書	学校教務室内に紙媒体で保管し申出により公表を行う。
監事による監査報告（書）	学校教務室内に紙媒体で保管し申出により公表を行う。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	103 単位 3,080 時間	76 単位	4 単位	23 単位		
	夜		単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		83 人	0 人	11 人	72 人	83 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>看護師に求められる能力、本校の教育理念、教育目的・目標をふまえ、ディプロマポリシーに到達できるようカリキュラム編成を行っている。カリキュラム評価を基に科目の学習内容や科目進度の妥当性を検討し年間計画を立案している。各科目の学習内容や授業方法については、前年度の授業評価、およびカリキュラムポリシーに沿って、科目責任者が計画している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>成績評価は各授業科目の所定の2/3以上出席した学生に対し、試験又は実習評価により行う。但し出席が2/3以上満たさない場合も、欠席・欠課の理由が公認欠席・欠課に該当する場合は、「補修願」を提出し、当該科目の補習講義・補習実習を受けて評価を受けることができる。</p> <p>学科試験の成績は、授業態度、試験、レポート、演習、出席日数等により担当講師がおこない、各授業科目につき100点法によって採点し、60点以上を合格とする。実習評価は実習内容、実習態度、出席状況等を総合して行い、100点法によって採点し、60点以上を合格とする。採点の方法は、各授業科目において小数点第一位を四捨五入して表示する。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>進級の認定に関する方針は、学則により以下のように定めている。</p> <p>(1) 出席日数が本校の定めた各学年の出席すべき日数の3分の2以上を出席した者。</p> <p>(2) 第3学年への進級は、第2学年の学年末までに定める全ての授業科目の単位を認定された者。</p> <p>(3) 第2学年への進級は、原則として第1学年末までに定める所定科目の単位を認定された者。</p> <p>卒業の認定に関する方針は、学則(内規)にて以下のように定めている。</p> <p>(1) 出席日数が本校の定めた各学年の出席すべき日数の3分の2以上を出席した者。</p> <p>(2) 本校の定める全ての授業科目の単位を認定された者。</p> <p>(3) 在学年限内の者。</p> <p>以上の要件を満たし、学校運営会議の議を経て、進級・卒業の認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>各学年で、学生の学習状況をふまえて年間の学習支援計画を立案し支援している。臨地実習に関する学習は、科目担当教員が教務主任や実習調整者と相談、調整しながら支援している。看護師国家試験対策は、教務主任、各学年担任が国試の傾向、学生の学習状況を踏まえて計画し支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	32人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 多くは山口県内(そのうち下関市内が半数以上)の医療機関(総合病院)へ就職している。			
(就職指導内容) 1年次より計画的に個別面談・相談、就職対策講座を計画的に実施している。内容は、病院の役割・機能を知る、病院分析、自己分析、自分に合った病院選択、就職活動の実際、履歴書の書き方、面接指導等。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83人	7人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期面談、保護者を含めた三者面談の実施。スクールカウンセリングのアナウンスや紹介。学生個々の状況に応じた個別面談の実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	250,000円	600,000円	250,000円	実習費、施設設備費、教材費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
法人独自の奨学金制度の設置				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
委員の定数 3名とし医療関係者、福祉関係者、看護師(卒業生)を構成員とする。年度末に学校自己評価の項目、教育課程、進路指導等の評価を行い、その結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。責任者は学校長とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人事務局長	2年	医療関係者
社会福祉法人事務局長	2年	福祉関係者
卒業生同窓会会長	2年	卒業生 (看護職)
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
学校教務室内に紙媒体で保管し、申出により公表を行う。

第三者による学校評価 (任意記載事項)

学校関係者評価委員会を年2回実施し、学校評価を実施している。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページ：<http://yoshimizu-kango.com>